

## 2 0 2 0 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 認定特定非営利活動法人 A I D S ネットワーク横浜

### 1 事業の成果

一般社会に対する教育、啓発活動

#### ア 第28期ボランティア学校開催、A I D S文化フォーラム in 横浜参加事業

エイズの知識をひろめ、一般市民への啓発を促進し、教員、福祉関係者、電話相談員の研修やボランティア活動の人材養成を目的に、5日間、10講座で計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止とした。

しかし、1講座をオンライン開催となったA I D S文化フォーラム in 横浜で開催し、高い評価を得た。

#### イ 世界A I D Sデー in Yokohama 参加事業

新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止となった。

#### ウ 出前講座講師派遣事業

若者、社会人を対象とした啓発活動として行っており、高等学校4、中学校4の8校から依頼があった。

感染予防に対して、少人数での複数回講演、校内オンラインでの講演など学校の状況、要望などに柔軟に対応して実施した。

約2,300人に啓発ができた。性の多様性から、S T I全般、避妊の話しなど、広く性教育的な内容を含めた内容は好評であり、講演後の質問に対して、すぐに文書で回答をしていることも信頼につながっている。

#### 電話相談事業

毎週水曜日夜間と土曜日の午後に開催しており、横浜市より一部委託を受けている。

2020年度は4月上旬から6月初頭まで、相談を実施している横浜市の施設が閉鎖となったため、その期間の相談は中止とした。再開後は新型コロナウイルスの影響が、相談件数はかなり減少し年間で250件程となったなかで、同性愛の方からの相談数が増加している。年齢層は30代以下が多く、20代が最も多い。女性からの相談は15%。神奈川県民25%であった。

マスコミでの情報減から正しい知識が浸透していないだけでなく、SNSの正誤とりまぜた情報に惑わされている状況が見られる。電話相談での匿名対話形式は、徒な不安感を解消し、ストレスを緩和するには最適な手段である。

#### ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動

##### ア ニュースレターの発行

223～225号の3回の発行を行った。本法人の活動の報告、各種の研修会や講座の報告、書評、講座の情報などを掲載した。本法人のホームページにニュースレターをアップし、更新していることで、一般に向けてのH I V / A I D Sについての啓発、研修の機会となっている。

##### イ ホームページ公開、更新事業

ホームページ閲覧者を視野に、H I V / A I D Sの理解と予防啓発、共生社会に向けての活動を行った。ホームページについては広く閲覧されているようで、問い合わせ、資料請求などがあった。

この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）

##### ア 財務部

賛助会費を含む寄付金の獲得と受付に努めた。今年度は横浜市からの公益活動緊急支援金の助成を戴いた。イベント開催やパンフレットの更新・作成のための「行事積立金」に100,000円を積み立てた。

## イ 事務局

約2ヶ月の事務所閉鎖の中でも、事業に必要な諸手続き、調整、連絡などを日常的に行った。活動の立案、情報交換、調整を検討する運営委員会を事務所以外で実施し、本法人の円滑な運営に貢献した。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

一般社会に対する教育、啓発活動に関する事業

#### ア AIDS文化フォーラム in 横浜参加事業

(ボランティア学校開催事業は中止)

- ・内 容 横浜市大付属病院ソーシャルワーカーの 瀬尾 緑 さんによる講演「ソーシャルワーカーの役割」を実施
- ・日 時 8月8日(土)10:00~15:00
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センターで実施し、画像、音声をオンラインで主催者に提供した。
- ・従事者人員 延べ10人
- ・受益対象者 一般市民希望者 延べ202人
- ・支 出 額 245,071円

#### イ 出前講座事業

- ・内 容 学生、成人に対する啓発講演活動。中学4校、高校4校から要請があり、新型コロナに対する感染予防を考慮して12回の講演実施となった。
- ・日 時 通年。要請により実施。
- ・場 所 要請者が指定する場所。多くは体育館だが、今年度は放送室からのオンラインなどもあった。
- ・従事者人員 延べ22人(打ち合わせ含む)
- ・受益対象者 中・高生徒、社会人 約2,300人
- ・支 出 額 158,212円

#### ウ 行事積立金事業

- ・内 容 イベント開催、パンフレット更新のための資金を積み立てる。
- ・受益対象者 一般市民多数を想定している。
- ・支 出 額 100,000円

#### 電話相談事業

- ・内 容 一般市民からのHIV、AIDSにかかわる電話相談。  
新型コロナウイルスの感染拡大により4~6月にかけて約2ヶ月休止。
- ・日 時 毎週、水(18:00~21:00)、土(15:00~18:00) 計84回
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・従事者人員 延べ195人(事務作業、研修活動を含む)
- ・受益対象者 一般市民248人
- ・支 出 額 417,318円

ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動に関する事業

ア ニュースレター発行事業

- ・内 容 会員・関係者に対して、本法人の活動、様々な情報を発信。
- ・日 時 年間5回発行
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・従事者人員 延べ7人
- ・受益対象者 会員および関係団体。次のイにより一般市民多数。

イ ホームページ公開、更新事業

- ・内 容 不特定多数の方を対象として、ホームページを随時更新し、ニュースレターや、様々な情報を公開。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・従事者人員 延べ5人
- ・受益対象者 一般市民多数

- ・ア、イの支出額計 117,587円

この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）

- ・内 容 会計・書類作成・提出などの事務的業務。運営委員会による、企画・調整業務。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター内法人事務所
- ・従事者人員 延べ75名
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・支 出 額 175,352円